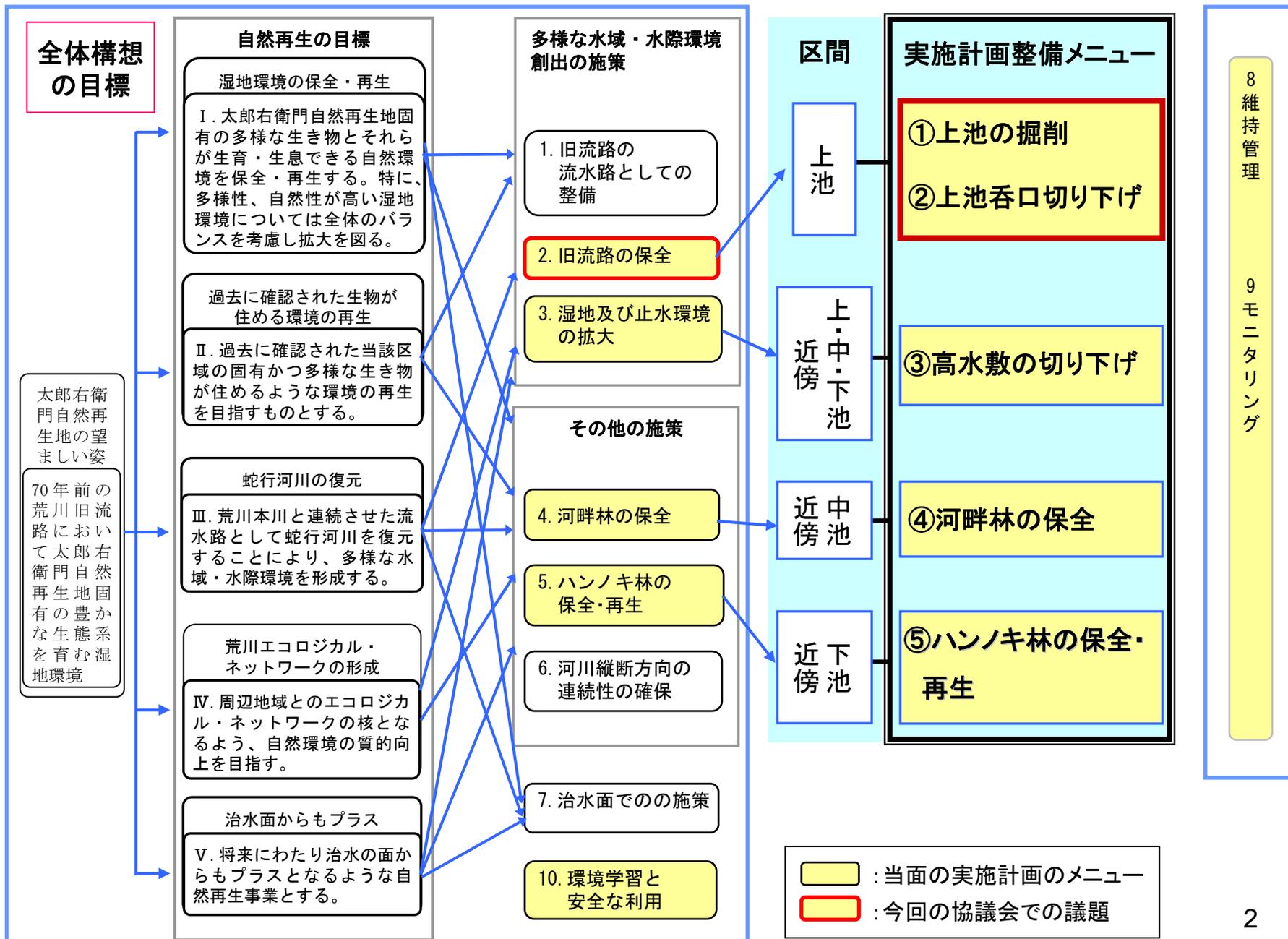


# 荒川太郎右衛門地区自然再生事業

## 実施計画の施策(案) について

平成20年8月

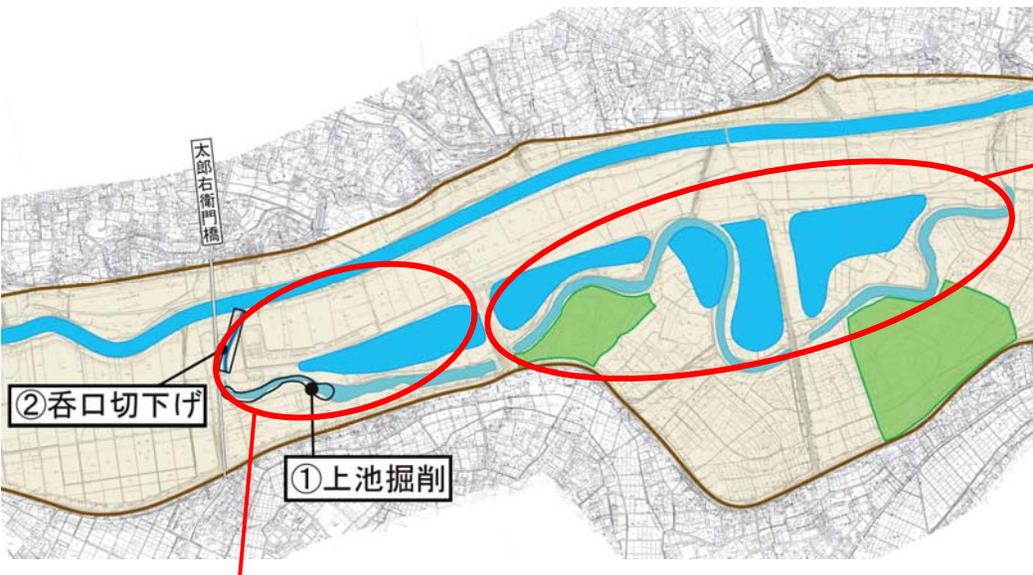
# 1. 実施計画における事業の実施内容



## 2.個別施策

### 1)旧流路の保全

#### ■旧流路の保全方針(当面)



#### 中池・下池

現状で水面が確保されているので環境を  
改変しないで引き続  
き状況をモニタリング  
する



中池



下池

#### 上池

乾燥化が著しいため  
湿潤度を高める



上池

※エキサイゼリやオナモミ等の希少種が確  
認され、その生育特性が明らかでないため、  
当面は、上池について独立して検討する。

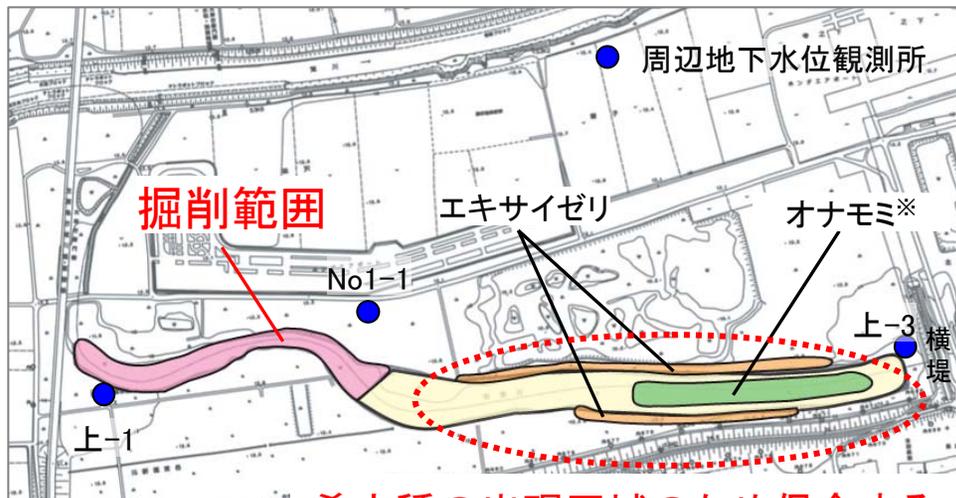
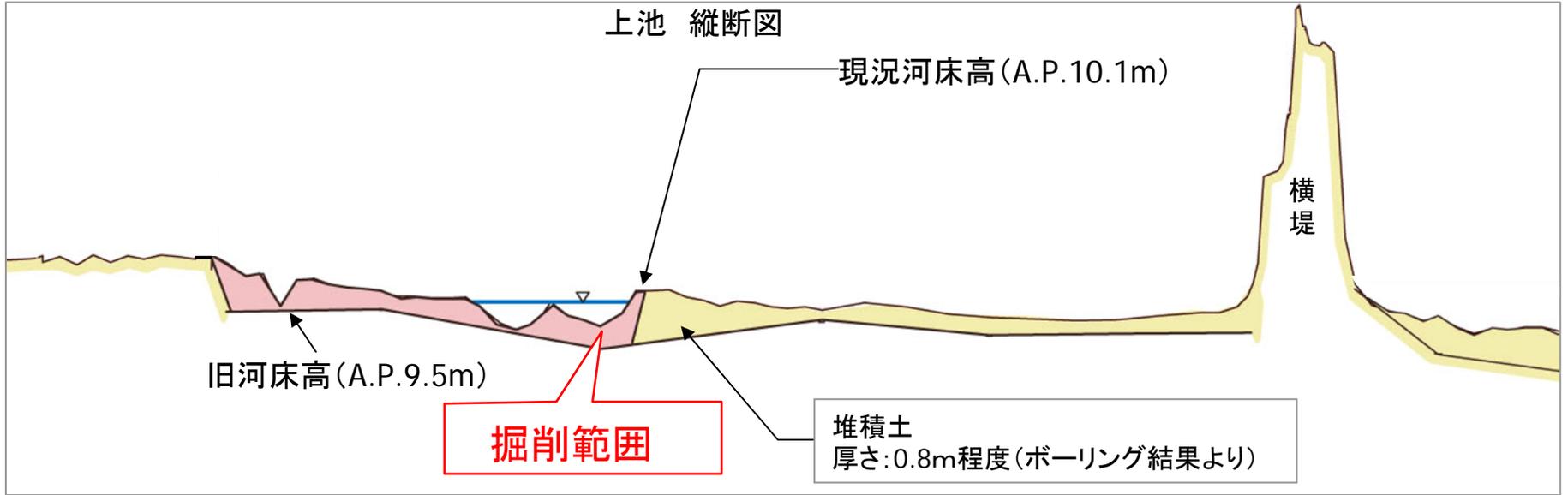
#### ■上池の整備メニュー

①上池の掘削

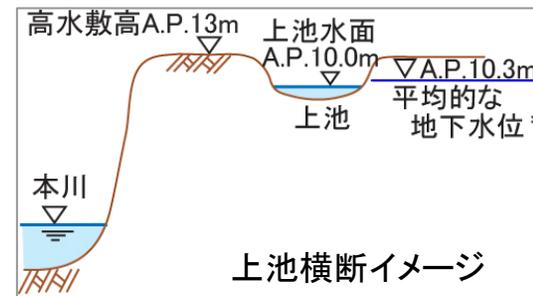
②上池呑口の切下げ

# ①上池の掘削

## 河床堆積物を除去し、湿潤度を高める



希少種の出現区域のため保全する



\*上池付近の地下水位の平均的な水位:  
H17~19の地下水位観測結果の平水位  
(上-1, No.1-1, 上-3)

※オナモミについて  
貴重種のランク:

環境省のレッドリスト…準絶滅危惧Ⅱ種 (VU)  
(平成19年8月見直しで新たに掲載)

埼玉県レッドリスト…準絶滅危惧 (平成17年7月改訂) 4

## ②上池呑口の切下げ

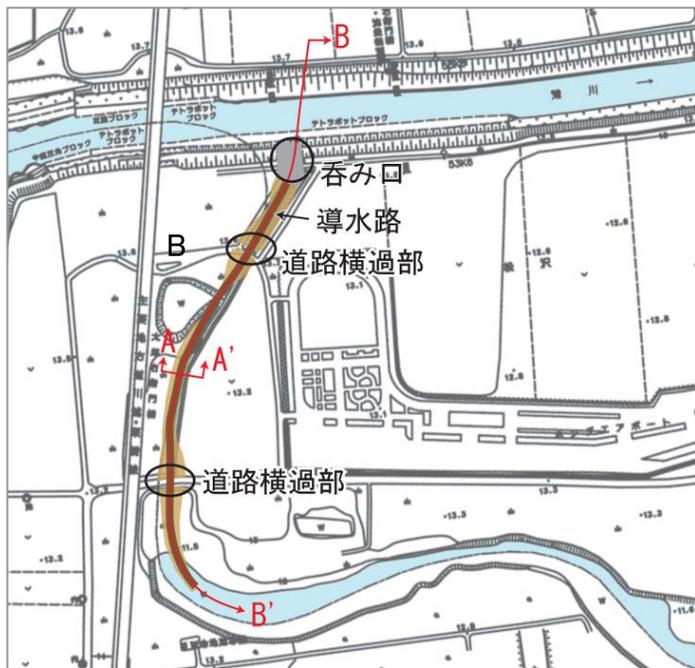
呑口を切下げ、中規模の出水時において本川から上池への流入頻度を高める

	発生回数 (13年10ヶ月)	発生頻度
現況呑口からの流入	17回	10ヶ月に1回
計画呑口からの流入	21回	8ヶ月に1回

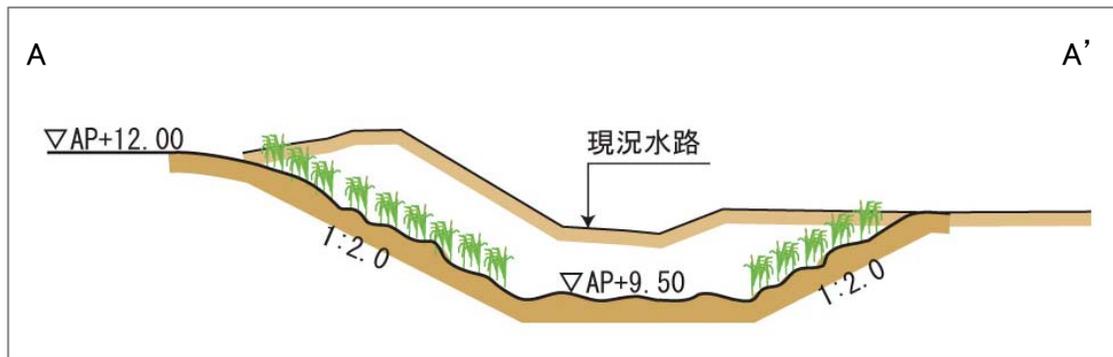


現況写真(左:呑口位置、中:呑口部分、右:上池への流路)

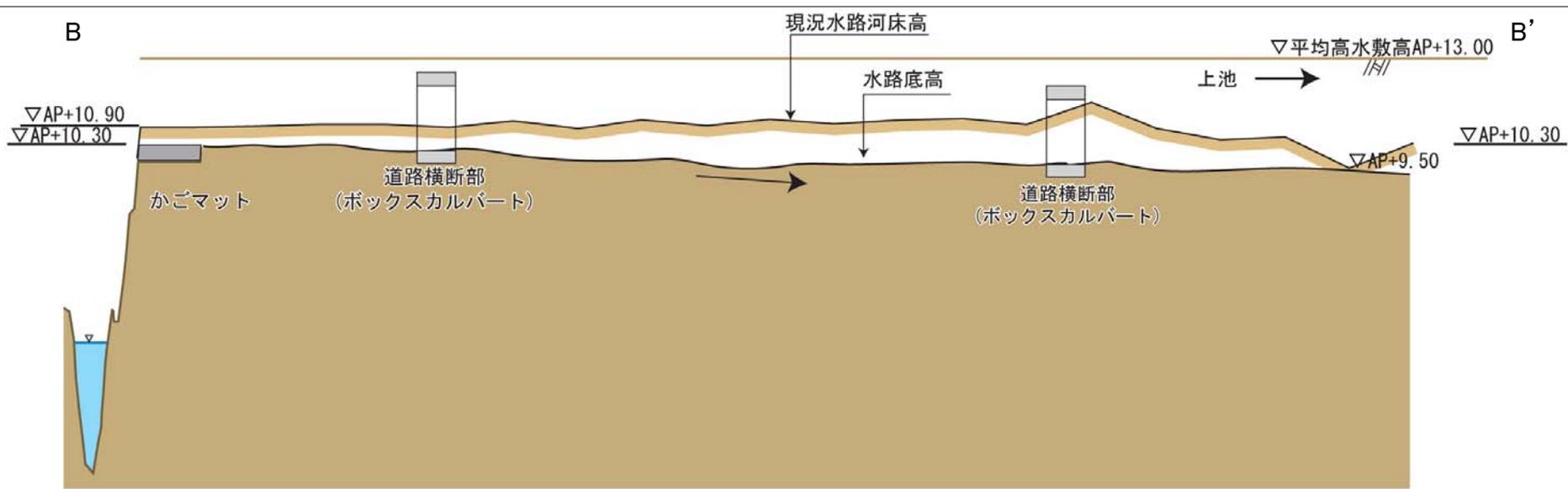
- ・上池呑口の切下げと上池の掘削を併せて実施することにより、上池の乾燥状態が湿潤状態へ回復することが期待される。



平面図



導水路部横断図

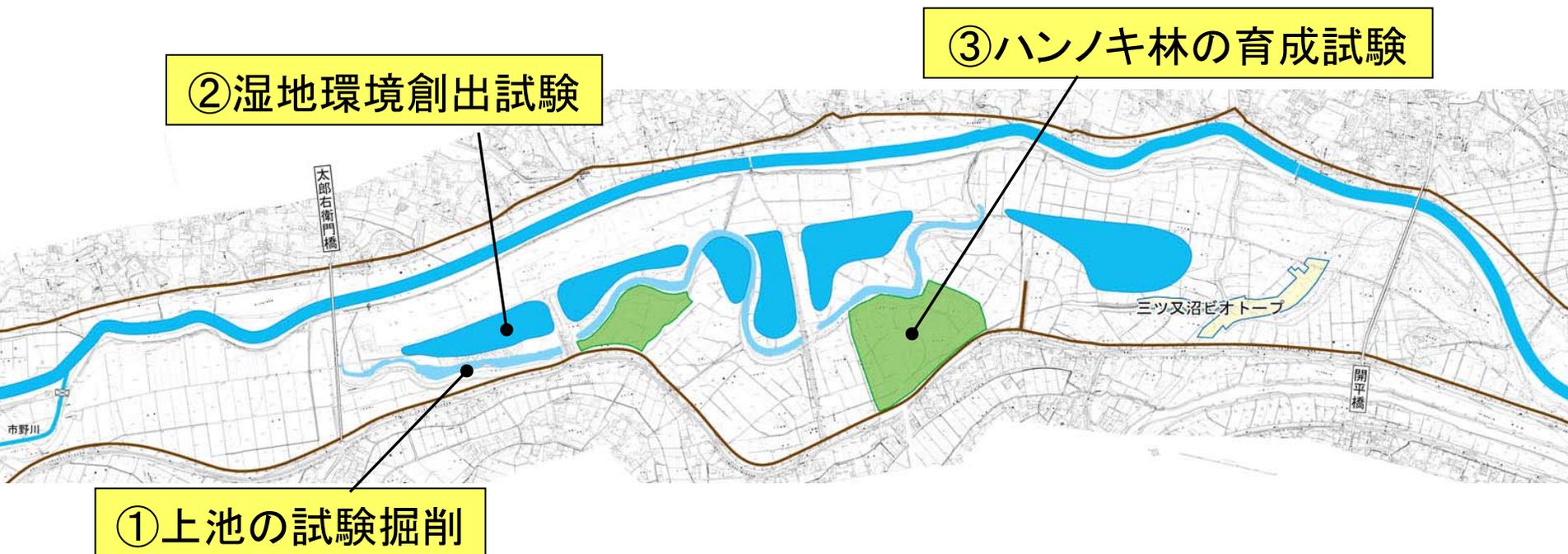


縦断図

# ■本年度実施する試験施工について

試験施工は、実施計画に掲げる整備施策の一部を先行的に施工し、その効果を検証しながら今後の事業展開を進めるために実施するものです。

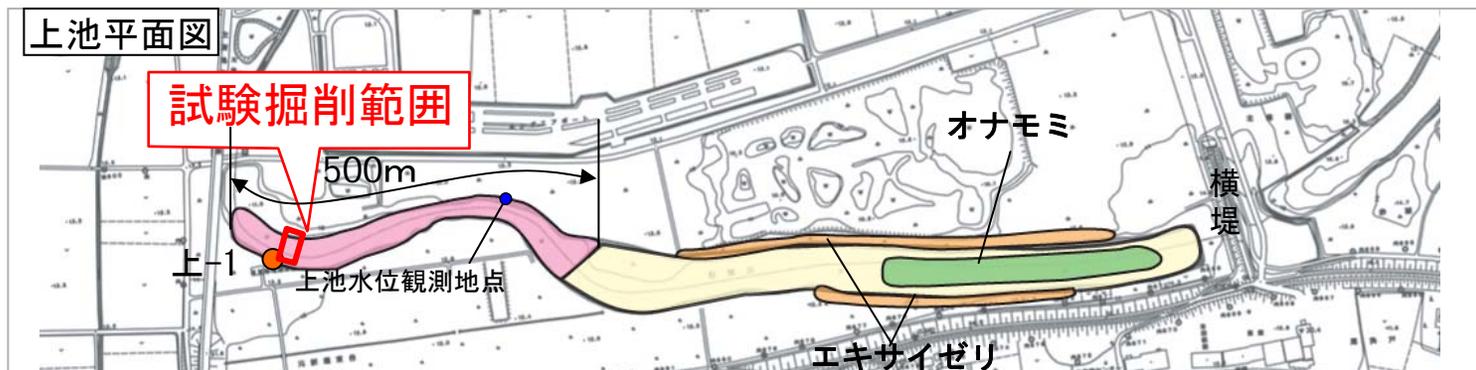
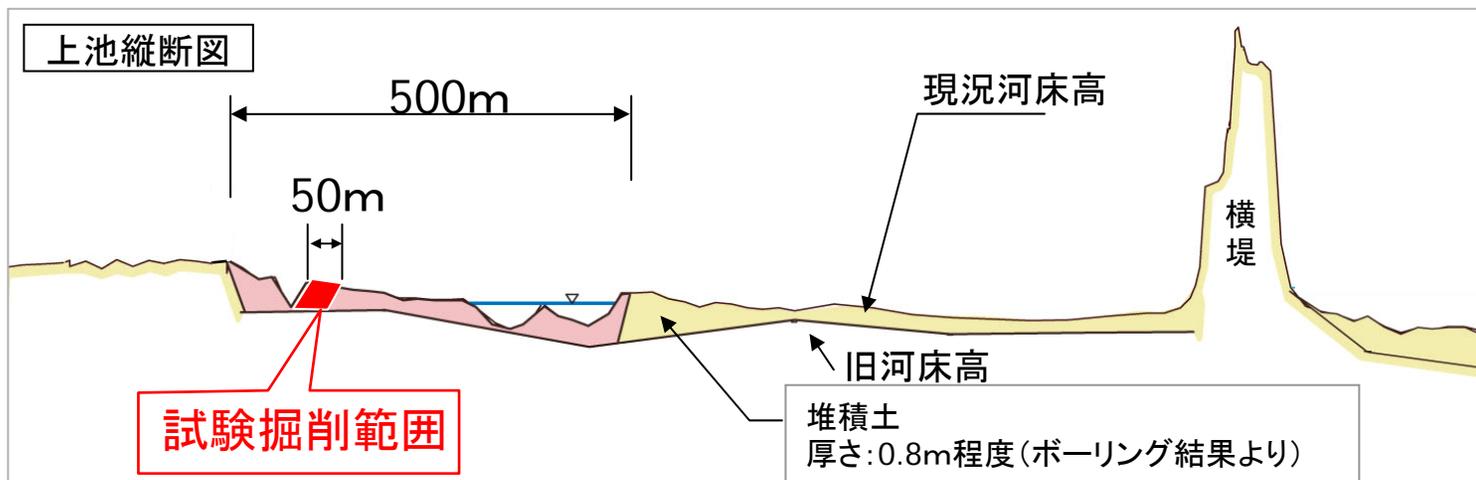
当面の施策に対する試験施工として、下記3つの試験を予定しています。なお、試験施工は生態系モニタリング専門委員会の意見を聴取しつつ進めていきます。



# (1)上池の試験掘削

## 《目的》

- ・上池に堆積している土砂を除去し、地下水の湧出を確認する。
- ・掘削後、試験地内における植物の出現状況を確認する。



# (1)上池の試験掘削

## 《試験施工の内容》

- ・上池河床の堆積土を、池横断方向に全幅(約60m)、縦断方向に50mの範囲で除去する。

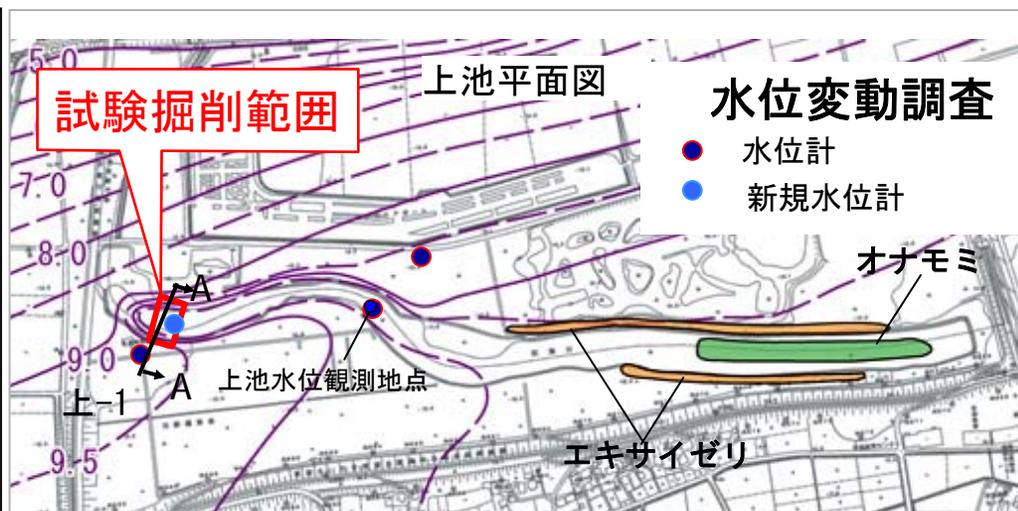
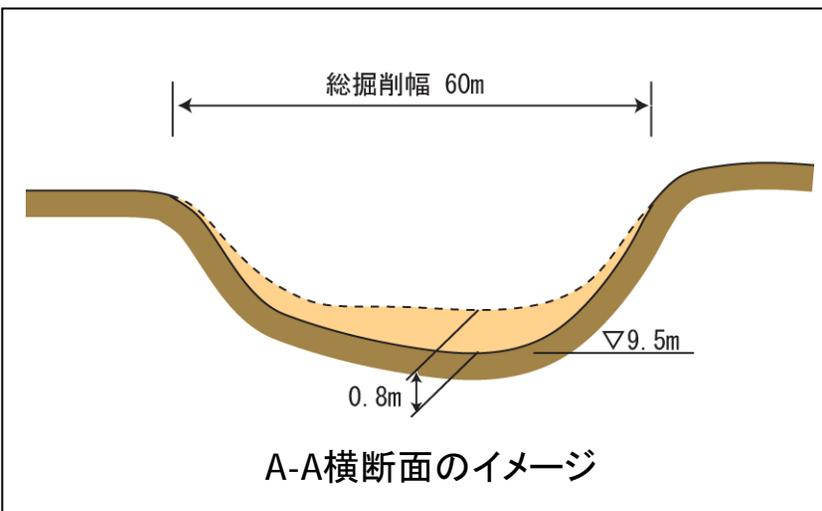
## 《モニタリング調査計画》

平成20年 秋季 … 現況のモニタリング調査(植生調査)

平成21年 1~3月 … 施工

平成21年 モニタリング調査

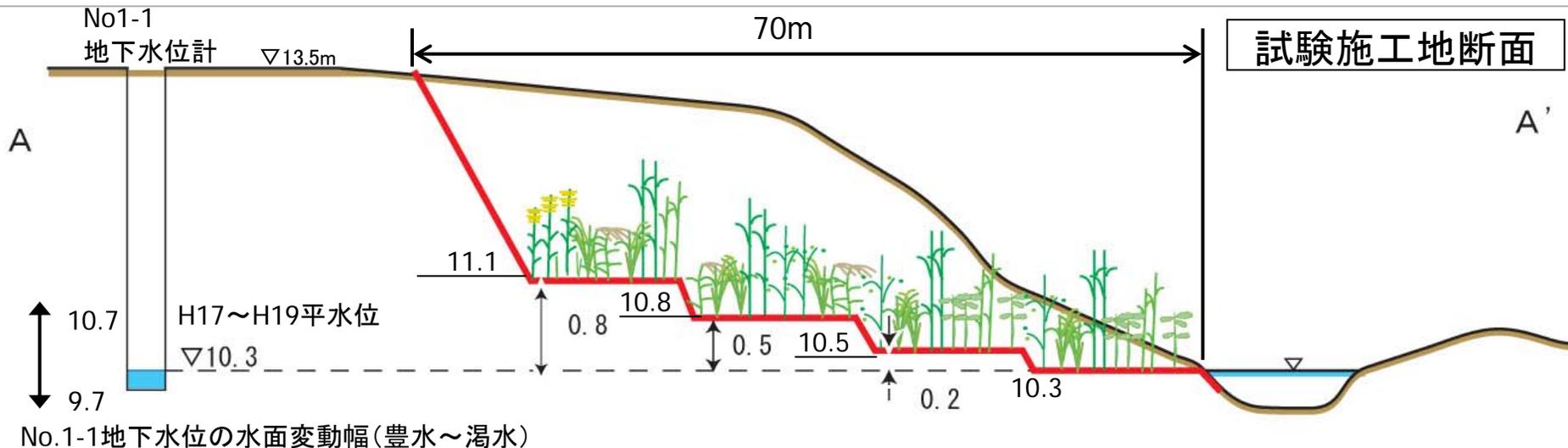
※施工手順、調査項目等の詳細については、生態系モニタリング専門委員会に諮る。  
また、試験施工中に生態系モニタリング専門委員会で現地確認を実施。



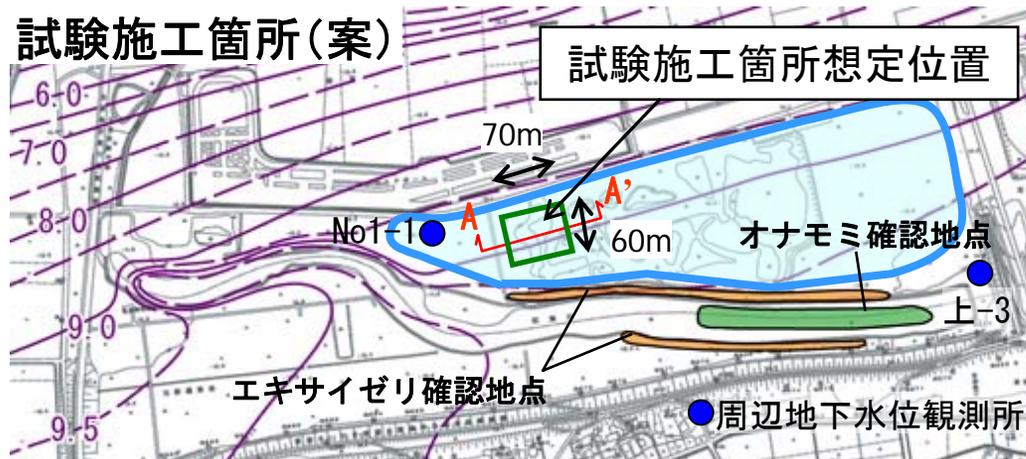
## (2) 湿地環境創出試験

### 《目的》

- ・掘削後の湿地環境の出現状況を観察する(土壌湿度の変化等も含む)
- ・掘削地、および上池堆積土の埋土種子の発芽状況を観察する。



### 試験施工箇所(案)



上池に隣接するモトクロス場跡地の  
上流側を想定する。

## (2) 湿地環境創出試験

### 《試験施工の内容》

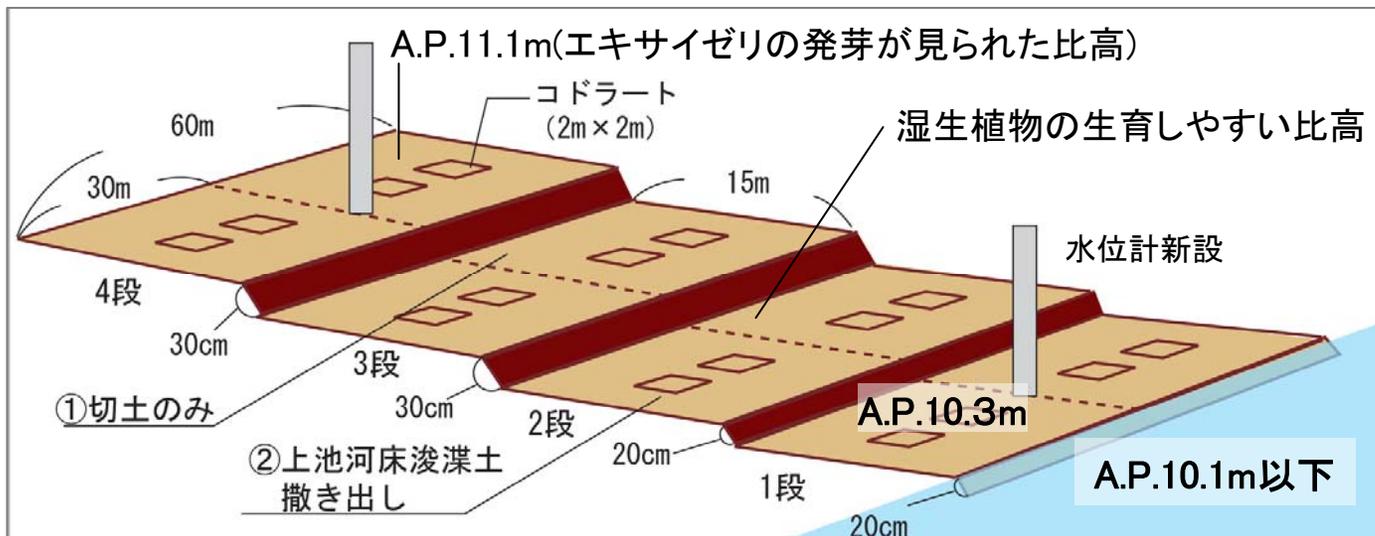
- ・階段面の高さは、地下水面、同+20cm、同+50cm、同+80cmとする。
- ・試験地を横断方向に2分割し、一方は切土のみ、他方は上池掘削土の撒き出し(20cm)を施し、植生再生状況等を比較観察する。
- ・周囲からの植生進入を防ぐため、掘削箇所周囲の除草を行う。

### 《モニタリング調査計画》

平成20年 秋季 … 現況のモニタリング調査(植生調査)

平成21年 1～3月 … 施工

平成21年 … モニタリング調査



※施工手順、調査項目等の詳細については、生態系モニタリング専門委員会に諮る。

また、試験施工中に生態系モニタリング専門委員会で現地確認を実施。

### (3)ハンノキの育成試験

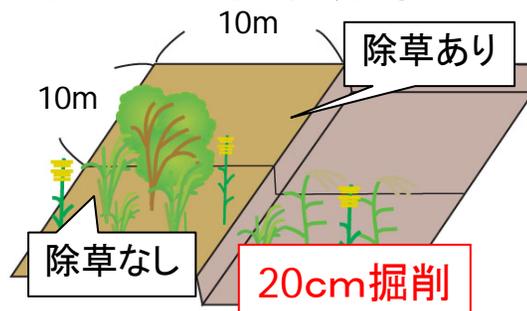
#### 《ハンノキの試験施工の目的》

#### A.ハンノキの【再生】に関する知見を得るための試験

- ①.発芽試験:周囲にハンノキ林が成立している環境下で、地盤条件等を整えることによって種子からの発芽状況に変化が生じるか、確認する
- ②.移植試験:周辺にハンノキが生育していない環境下で、地盤条件等を整えることによりハンノキの幼木が活着・成長する場となるか、確認する。併せて発芽試験も実施する。

#### B.現況のハンノキ林を【保全】していくための知見を得る試験

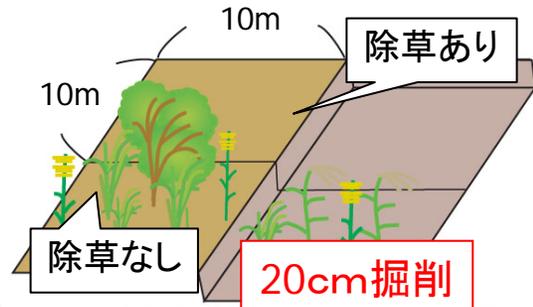
- ③.生育試験:ハンノキ幼木が生育している環境下で、地盤条件等を整えることにより幼木の生育状況に変化が生じるか、確認する。



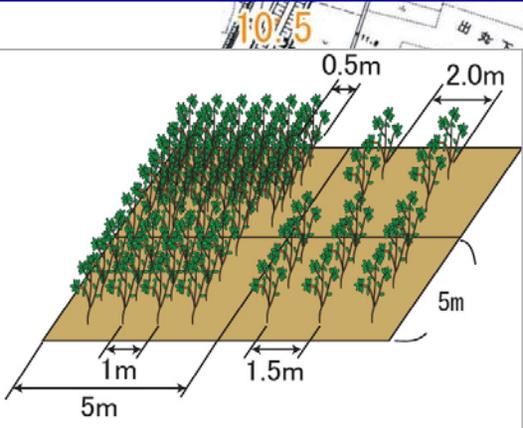
- ・各試験地で、除草の有無、さらに掘削(20cm)の有無の違いを設けて施工を実施

# (3)ハンノキの育成試験

《試験施工の内容》・各試験地で、除草の有無、掘削(20cm)の有無の違いを設けて施工を実施



②周辺にハンノキが生育していない場所で、ハンノキの幼木を移植して、生育するのに適した環境を整える。併せて、発芽確認の試験も行う。



③ハンノキ幼木が既に生育している箇所で、幼木がより多く生育するための環境条件を整える。

①既存ハンノキ林の周囲で、種子が発芽するための環境を整える。

### (3)ハンノキの育成試験

#### 《モニタリング調査計画》

平成20年 秋季 … 現況のモニタリング調査(植物調査)

平成20年 冬季 … 掘削、除草エリアの整地、苗木の移植

平成21年 早春期(3月頃)…除草エリアの除草

※その後、適宜除草を実施

春季～冬季 …モニタリング調査

※施工手順、調査項目等の詳細については、  
生態系モニタリング専門委員会に諮る。  
また、試験施工中に生態系モニタリング  
専門委員会で現地確認を実施。

## (4)スケジュール

	1月	2月	3月
上池掘削	 <p>数箇所での坪掘りのうえ、生態系モニタリング専門委員会の指導のもと掘削範囲を決定します</p>		
モニタリング専門委員会	● 施工状況確認	● 施工継続の有無を協議	
	1月	2月	3月
湿地環境創出			
ハンノキ育成			
モニタリング専門委員会	● 施工状況確認	● 状況に応じて確認	